

今月のエキゾチック症例(第8回 2023年10月)

非定型って？－ハムスターの非定型線維腫－

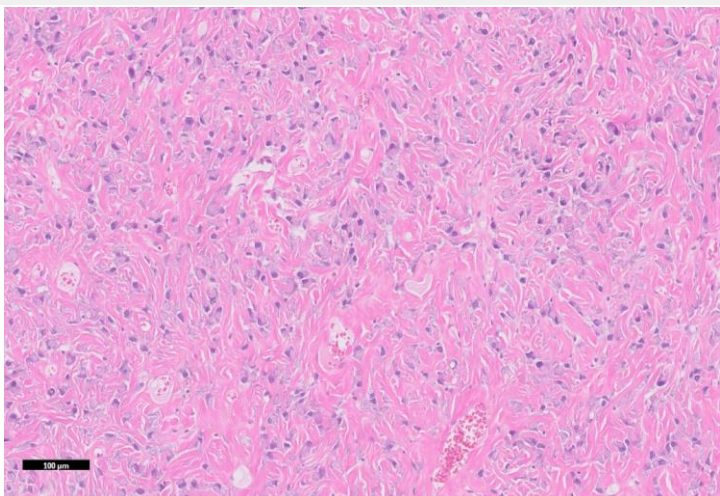
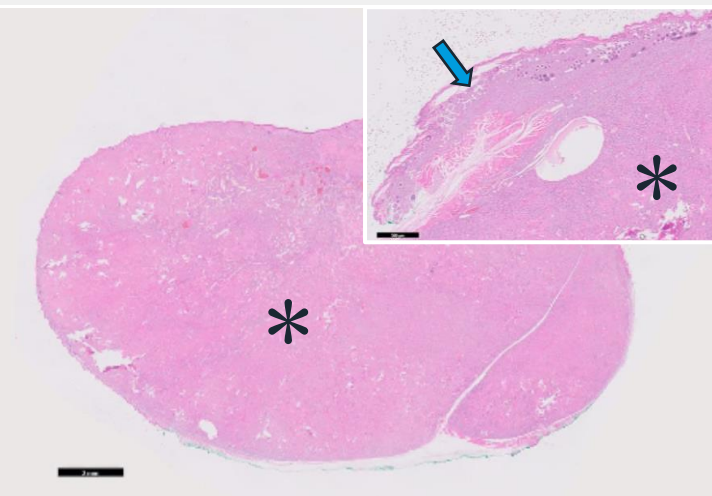


図 1. 組織写真、ルーペ像。真皮～皮下組織に境界不明瞭な腫瘤(*)が形成されています。非腫瘤部の真皮領域も帯状に青みがかっている(矢印)のにも着目してください(挿入図、低倍像)。

図 2. 組織写真、中倍像。豊富な膠原線維(濃いピンク)の間で、細胞質が好塩基性がかった多角形～短紡錘形の腫瘍細胞が散在性または錯綜しながらシート状に増殖しています。

線維腫は、線維芽細胞に由来する良性の間葉系腫瘍です。ジャンガリアンハムスターを主とするドワーフハムスターでは、腫瘍細胞が特徴的な形態を示す線維腫が皮膚や皮下に発生します(図1)。神経節細胞様(Ganglion cell-like: GL)線維腫、線維芽細胞腫とも呼ばれます。ほとんどが雄に発生し、アンドロジェンの影響を受けるとされています。好発部位は胸腹部です。多くは孤発性ですが、稀に多発性もあるようです。

組織学的には、多角形～短紡錘形の腫瘍細胞が膠原線維を産生しながら増殖します(図2)。腫瘍細胞は好塩基性で泡沫状の細胞質と、偏在性の類円形核を有します(図3)。神経節細胞(図3挿入図)に類似するので、GL細胞と呼ばれます。

非定型線維腫の多くは良性挙動を示しますが、浸潤性を示す悪性腫瘍(非定型線維肉腫)も少数報告があります。良性であっても、元々のGL細胞が分布している性質上、腫瘍と正常部の境界は不明瞭なことが多いです(図1挿入図)。

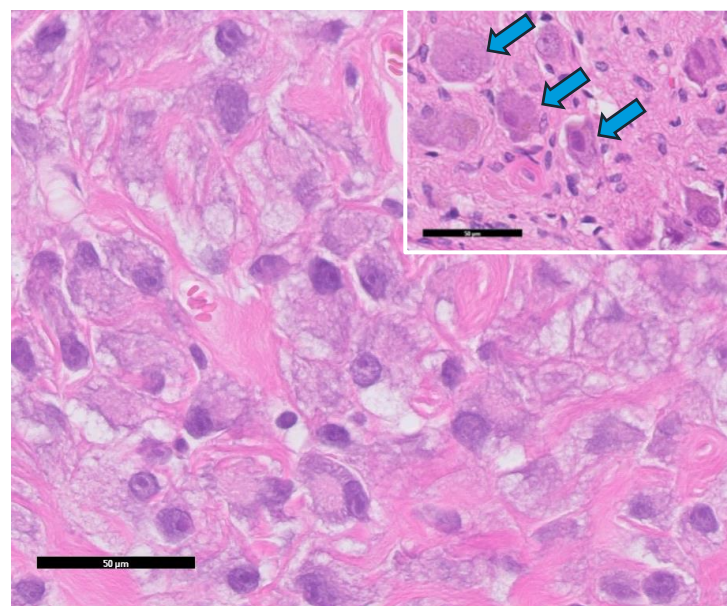


図 3. 組織写真、高倍像。腫瘍細胞の細胞質辺縁が好塩基性を帯び、核は明瞭な核小体を持つ正染性または濃染性の類円形です。神経節細胞(矢印)に類似しています(挿入図、ヨツユビハリネズミの傍神経節)。

診断医からの一言

無断での転用/転載は禁止します。

ハムスターはエキゾチックペットの中でも古くから親しまれていて、私も子どもの頃に飼いたいと勉強しましたが(結局飼えず)、ゴールデンハムスターやジャンガリアンハムスターなどは品種ではなく別の動物種だと大学で習ったときには驚きました。カルテや依頼書の記入でどこまで厳密にすべきか悩みそうですが、「動物種:ハムスター、品種:ロボロフスキー」で多くの人に通じると思います。

参考文献

1. Kondo H et al., Vet Pathol. 2008; 45(5): 678-680.
2. Baba Y et al., Comp Med. 2003; 53(5): 527-531.
3. Nakahira R et al., Comp Med. 2016; 66(1): 25-29.



診断医: 中嶋 朋美
DVM, PhD, DJCVP